

児童館再編の取組の検証作業（途中経過）について

区では、児童館再編の取組を検証するため、児童青少年課等の関係課職員による「児童館再編に係る作業部会」を設置し、この間、以下のとおり検証作業を進めています。

「検証のまとめ」に向けて作業を継続しているところですが、同作業部会において収集データの中から検証作業に資する着目データ等を整理しましたので、報告いたします。

1 検証作業について

(1) 検証の項目

- 児童館再編の取組により展開した居場所において、児童館の機能・役割が継承・発展されているかどうかを検証の項目としています。

(2) 児童館の機能・役割（活動内容）と検証作業

- 杉並区の児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象に、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする児童福祉施設として、大きく分けて次の三つの機能・役割を果たしています。
 - ① 子どもの居場所・成長支援
 - ② 子育て支援
 - ③ 子ども・子育てを支えるネットワークづくり
- この機能・役割は、「杉並区立児童館運営指針」（次ページ参照）の中で児童館運営の基本姿勢に掲げて、各児童館では様々な活動を展開しています。
- 検証に当たって、具体的な活動内容を下表のとおり整理し、これに沿って、利用者の声（アンケート）等の収集データを整理しながら、分析・評価を進めています。

機能・役割	活動内容	
	小学生の居場所	乳幼児親子の居場所
子どもの居場所・成長支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 居心地の良い安全・安心な居場所の提供 ● 子どもが主役の多様な遊びの援助 ● 子ども同士の交流や仲間づくりの支援 ● スポーツ、文化・創作活動など様々な体験活動の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● くつろぎの居場所と遊び場の提供 ● 子どもに関する身近な相談への対応 ● 乳幼児親子の交流の場の提供 ● 地域の子育て関連情報の提供 ● 親子で楽しめるプログラムや子育てに関する講座等の実施
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者や学校、関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て自主グループの活動支援
子ども・子育てを支えるネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における子育て支援拠点としてのネットワークづくり 	

- なお、学童クラブ及び中・高校生の居場所に関しては、別の視点から整理しています。

杉並区立児童館運営指針

平成 20 年 2 月 14 日

19 杉並第 74615 号

1. 運営指針の目的

この指針は、杉並区立児童青少年センター及び児童館事業運営要綱で定めた児童館事業を運営するうえでの、基本姿勢及び運営の柱と基本方針を明らかにし、事業の充実を図ることを目的とする。

2. 基本姿勢

(子どもの居場所・成長支援)

(1) 子どもが安心して安全に過ごせる居場所とする。また、子どもが主役の遊びや活動を通して、子どもたちが自主性・社会性・創造性を培い、自らの可能性を広げ健やかに成長していけるよう支援する。

(子育て支援)

(2) 子どもを育てるすべての家庭が、楽しく、充実した子育てができるように、保護者同士の出会いと交流を進める。子育ての不安や悩みを受け止め、保護者が子育ての力をつけていけるよう支援する。

(子ども・子育てを支えるネットワークづくり)

(3) 子どもと子育てをあたたく見守り支える地域を創るため、地域における子育て支援の拠点として、子どもに関わる個人・団体・NPO・行政機関等と課題を共有し連携を広げ、地域のネットワークづくりを進める。

3. 運営の柱と基本方針

(1) 小学生の身近な居場所とし、多様な遊びや活動を通して成長を支援する。

- ① 安心安全で身近な居場所として、多数の子どもに利用されるよう努める。
- ② 多様な遊びや活動を通して、友達や大人と出会い、楽しくふれあう機会を提供する。
- ③ 生活体験、社会体験、自然体験など、豊かな体験の機会を提供する。
- ④ 子どもの意見を尊重し、子どもの参画による活動を進める。
- ⑤ 配慮の必要な子どもへは、保護者や学校、関係機関と連携し対応する。

(2) 障害のある子どもの利用を促進し、子ども同士の理解と交流を進める。

- ① 障害のある子どもが、日常の利用やプログラムへの参加がしやすいよう配慮する。
- ② 障害児利用促進重点館を中心に、障害のある子どももいない子どもも一緒に楽しみ、交流できるプログラムを実施する。

(3) 中・高校生の利用者をうけとめるとともに、自主的な活動を支援する。

- ① 中・高校生の利用者をうけとめ、居場所としての役割を果たす。
- ② 中・高校生がプレリーダーやボランティアの役割を担ったり、乳幼児や地域の大人と交流したりするなど、多様な社会体験の機会を提供する。
- ③ 地域児童館を中心に、中・高校生の意見を取り入れた居場所作り、自主的活動の支援、地域における社会参画を進める。

(4) 乳幼児親子の身近な居場所とし、子育てを支援する。

- ① 乳幼児親子がくつろげる居場所としての環境を整える。
- ② 保護者の子育てへの思いや不安を受け止め、身近な相談場所として機能する。
- ③ 親子で楽しめるプログラムを実施し、保護者・子ども同士の交流とつながり作りを進める。
- ④ 子育て情報や学びの機会を提供し、保護者が子育ての力をつけていけるよう支援する。
- ⑤ 保護者の自主的な活動やグループ作りを支援する。

(5) 地域の子育て支援の拠点として、子ども家庭支援やネットワークづくりに取り組む。

- ① 子どもに関する地域の身近な相談機関として機能する。
- ② 困難を抱える子どもや家庭の発見に努め関係機関と連携して支援する。
- ③ 児童館事業を、利用者、ボランティア、関係団体、子育て支援グループ、NPO等の参加と協働で進める。
- ④ 子どもと子育てに関わる区民・NPO等の自主的な活動を支援する。
- ⑤ 地域子育てネットワーク事業を、幅広い区民の参画で進め、子どもと子育てを支える地域のつながりを創り出す。

(6) 学童クラブ事業を、杉並区学童クラブ運営指針をもとに、登録児童数や施設状況など各学童クラブの実情に合わせて進める。

(7) 危機管理についての意識を高め、日常的に子どもを守り、安全な環境を確保していくとともに、災害や非常時を想定した訓練、個人情報の厳正な管理を行う。また子どもの安全を守るための、地域の関係機関・団体との情報共有や連携した取り組みを進める。

(3) 検証対象の施設・事業

児童館	検証対象（継承先）
小学生の居場所	放課後等居場所事業 学童クラブ（校内等への移転の取組）
乳幼児親子の居場所	子ども・子育てプラザ
中・高校生の居場所	中・高校生の新たな居場所づくりの取組 ゆう杉並の充実
地域子育てネットワーク事業（事務局）	子ども・子育てプラザ

※各小学校区で、児童館及び子ども・子育てプラザを事務局として、地域との協働による地域交流の伝統行事の実施や、関係機関や地域団体等で構成する連絡会の開催など、子どもと子育てを応援する地域社会のつながりを強めるための取組

(4) 収集したデータ

○ アンケート

施設再編前の施設の利用者対象

- 児童館（ゆうキッズ）に関するアンケート
（児童館（5館）を利用する乳幼児の保護者対象）
 - ・ 期間：令和5年2月28日～3月7日
 - ・ 内容：児童館と子ども・子育てプラザを比較した満足度等
 - ・ 回答状況：157人
- 児童館（小学生）の利用に関するアンケート
（児童館（5館）の対応小学校に在籍する児童及び保護者対象）
 - ・ 期間：令和5年2月28日～3月7日
 - ・ 内容：児童館の利用状況、放課後等居場所事業の移行への見解等
 - ・ 回答状況：839人／2,784人（回答率：30.1%）

施設再編後の施設の利用者対象

- 子ども・子育てプラザの利用に関するアンケート
（子ども・子育てプラザを利用する乳幼児保護者対象）
 - ・ 期間：令和5年2月28日～3月7日
 - ・ 内容：設置目的の達成状況、児童館と比較した満足度、児童館からの機能継承の評価等
 - ・ 回答状況：404人
- 放課後等居場所事業の利用に関するアンケート
（放課後等居場所事業実施小学校（14校）に在籍する児童及び保護者対象）
 - ・ 期間：令和5年2月28日～3月7日
 - ・ 内容：事業の利用状況、児童館と比較した満足度、児童館からの機能継承の評価等
 - ・ 回答状況：1,980人／7,896人（回答率：25.1%）

- **学童クラブの設置場所に関するアンケート**
 - （校内学童クラブ（隣接含む・5所）に在籍する児童の保護者対象）
 - ・期間：令和5年2月28日～3月7日
 - ・内容：児童館内と小学校内の学童クラブの比較等
 - ・回答状況：147人／505人（回答率：29.1%）
- **中・高校生世代の居場所に関するアンケート**
 - （コミュニティふらっと永福を利用する中・高校生対象）
 - ・期間：令和5年3月3日～3月15日
 - ・内容：ティーンズタイムについて、児童館との比較等
 - ・回答状況：61人
- **意見交換会**
 - **放課後等居場所事業に関する小学生との意見交換会（子ども会議）**
 - ・対象：放課後等居場所事業実施校の小学生
 - ・時期：令和5年3月7日～3月22日（14校で実施）
 - ・内容：放課後等居場所事業の満足度、児童館との比較等
 - **乳幼児親子の居場所に関する保護者等との意見交換会**
 - ・対象：子ども・子育てプラザ（3所）の利用保護者、児童福祉関係者
 - ・時期：令和5年3月24日～3月29日（3所で実施）
 - ・内容：子ども・子育てプラザ、児童館の再編整備について等
 - **小学生の居場所に関する保護者等との意見交換会**
 - ・対象：学童クラブ・放課後等居場所事業（各3所）利用児童保護者、児童福祉関係者
 - ・時期：令和5年3月23日～3月29日（3か所で実施）
 - ・内容：学童クラブ・放課後等居場所事業、児童館の再編整備について等
 - **コミュニティふらっと永福を利用する中・高校生との意見交換会**
 - ・対象：コミュニティふらっと永福のラウンジの一部や多目的室・楽器練習室を優先利用できるティーンズタイムを利用する中・高校生
 - ・時期：令和5年3月3日及び令和5年3月9日
 - ・内容：ティーンズタイムについて等
 - **地域連携に関する意見交換会**
 - ・対象：杉並区母親クラブ
 - ・時期：令和5年3月7日
 - ・内容：児童館や子ども・子育てプラザの地域連携の役割等
- **現場職員ヒアリング**
 - **放課後等居場所事業の職員へのヒアリング**
 - ・対象：放課後等居場所事業実施対象校（14校）の職員
 - ・時期：令和5年4月20日
 - ・内容：事業の取組状況、現場の実情等
 - **学童クラブの職員へのヒアリング**
 - ・対象：学童クラブ（4クラブ）の職員
 - ・時期：令和5年4月20日

- ・内容：校内学童のメリット・デメリット等
- **子ども・子育てプラザ職員等へのヒアリング**
 - ・対象：子ども・子育てプラザ（6所）及び下高井戸児童館職員
 - ・時期：令和5年4月18日
 - ・内容：区取組、現場の実情等
- **児童館職員へのヒアリング**
 - ・対象：児童館（5館）の職員
 - ・時期：令和5年4月13日～4月27日（5館で実施）
 - ・内容：区取組、現場の実情等

2 整理したデータ（作業部会で着目したデータの概要）

(1) 小学生の居場所【放課後等居場所事業】の検証に関する部分

活動内容	データ（概要）
居心地の良い安全・安心な居場所の提供	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保護者アンケート（左記の活動内容が継承されているか）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継承されている＋どちらかといえば継承されている 66.3% ・ どちらかといえば継承されていない＋継承されていない 2.5% ・ どちらともいえない（わからない含む） 20.7% <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子どもアンケート（放課後等居場所事業は楽しいか）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ とても楽しい＋楽しい 94.1% <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">利用実績</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館の利用状況に比して1.6倍の利用 ・ ただし、高学年は利用が少ない（児童館も同様の傾向） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保護者アンケート（参加してよかったと思うこと）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全・安心に遊べる 55.5%（1位） ・ 保護者不在時に留守番をさせなくてよい 53.5%（2位） ・ 「学校外に出て移動することなく放課後に遊ばせることができて安全・安心である」といった意見あり <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題につながる意見等</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校休業日（平日）の利用時間を早めてほしい ・ 利用有無をリアルタイムで保護者に通知してほしい ・ 児童館に比べて自由度が低くなった ・ 学校を居心地のいい場所だと思っていない子（学校になじめない子）にとっては、居心地のよい居場所にはなりづらいのではないかと
子どもが主役の多様な遊びの援助	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保護者アンケート（左記の活動内容が継承されているか）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継承されている＋どちらかといえば継承されている 56.5% ・ どちらかといえば継承されていない＋継承されていない 3.6% ・ どちらともいえない（わからない含む） 29.4% <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子どもアンケート（放課後等居場所事業は楽しいか）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ とても楽しい＋楽しい 94.1%

	<p>子どもアンケート（どんなことをして過ごしているか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなおもちゃ（ボードゲームなどで遊ぶ） 69.5% ・宿題や勉強をする 56.7% ・友達とおしゃべりをする 50.8% ・身体を動かして遊ぶ 48.6% ・工作やお話の会などイベントに参加する 45.6% <p>子ども会議（子どもの声）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その日の気分でやりたいことをする ・イベントがある時に遊びに行く <p>子どもアンケート（遊ばない理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりたいことができないから 15.1% （児童館アンケートの同質問 19.9%） <p>保護者アンケート（不足している点は何か）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外遊びなど身体を動かす活動」 17.5%（第3位） （児童館アンケートの同質問 32.2%） <p>課題につながる意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭・体育館を利用できる時間に制約がある ・校庭や体育館で遊べる時間が短い <p>※ 児童館においても遊戯室を「1年生タイム」「ドッジボールタイム」「一輪車タイム」などの時間で区切り、いつでも自由に利用できている状況とは言えないことから、放課後等居場所事業だけが有している課題とは言いがたいものの改善を要する事項と考えられる</p>
<p>子ども同士の交流や仲間づくりの支援</p>	<p>保護者アンケート（左記の活動内容が継承されているか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継承されている＋どちらかといえば継承されている 53.7% ・どちらかといえば継承されていない＋継承されていない 4.7% ・どちらともいえない（わからない含む） 31.0% <p>保護者アンケート（参加してよかったと思うこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のクラスや別の学年の友達と遊ぶことが増えた 25.0%（4位） ・友達が増えた 16.1%（5位） （児童館アンケートでも同様の傾向） <p>運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等居場所事業、児童館のいずれも「1年生グループ」「卓球グループ」「みんなで遊ぼう」などのグループ活動を実施し、子ども同士の交流や仲間づくりを支援する取組が行われている。また、放課後等居場所事業では、「学童クラブと交流しよう」といった交流イベントや、学童クラブ在籍児童も放課後等居場所事業のイベントも実施している。 <p>課題につながる意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブの子と遊べなくなった ・国立・私立に通う子などが利用しづらいのではないか

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児や中・高校生との交流ができなくなった (子ども会議での意見には「自分たちだけで遊びたい」という声もある)
<p>スポーツ、文化・創作活動など様々な体験活動の提供</p>	<p>保護者アンケート（左記の活動内容が継承されているか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継承されている+どちらかといえば継承されている 47.7% ・ どちらかといえば継承されていない+継承されていない 5.6% ・ どちらともいえない（わからない含む） 36.0% <p>子どもアンケート（どんなことをして過ごしているか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工作やお話の会などのイベントに参加する 45.6% <p>保護者アンケート（参加してよかったと思うこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家ではできない遊びができる 37.1%（3位） <p>運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母親クラブ、PTA、学校支援本部、保護者の協力を得て、読み聞かせや工作などのプログラムを実施している ・ 学校支援本部が実施する放課後子ども教室と協働でプログラムを実施している放課後等居場所事業もある <p>課題につながる意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クッキングや遠足など、児童館で行っていた体験活動をやりたい
<p>保護者や学校、関係機関との連携</p>	<p>保護者アンケート（放課後等居場所事業の内容についての意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お迎えの時など、子どもの様子などを伝えてくれてありがたい ・ なにかあれば電話で連絡をもらい、安心 ・ いつも丁寧に子どもと接している様子を子どもの顔から感じる ・ ひとりひとりをよく見ており、安心 ・ 子どもが困っている時などきちんと対応してくれた <p>運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの様子がいつもと違う時など、子どもが友達関係や養育上の課題を抱えていることが懸念される場合は、学校と連携し、関係機関につなぐなどの対応を行っている ・ 校内での運営のため、学校と連携しやすい <p>課題につながる意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフの顔が見えづらい
<p>地域における子育て支援拠点としてのネットワークづくり</p>	<p>※ この機能・役割については、子ども・子育てプラザが担うこととし、従前の児童館の活動（地域子育てネットワーク事業）を継承しています。</p> <p>※ そのため、ここでは、継承の視点ではなく、小学生の健全育成支援を行う上で重要な要素の一つである「地域全体で健全育成を進める環境づくり」に関し、分析・評価を行うこととしています。</p>

	<p>保護者アンケート（地域全体で健全育成を進める環境づくりに関する部分が継承されているか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継承されている＋どちらかといえば継承されている 33.2% ・ どちらかといえば継承されていない＋継承されていない 8.1% ・ どちらともいえない（わからない含む） 48.2%
	<p>運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館で実施してきたおまつりなどの行事を子ども・子育てプラザと一緒に実施することや、地域住民の協力を得てプログラムを実施している。

(2) 小学生の居場所【学童クラブの設置場所】の検証に関する部分

- ※ 学童クラブについては、増加する学童クラブ需要に対応するとともに、安全・安心な育成環境の確保を図るため、児童館再編の取組の中で、児童館内から小学校内（小学校隣接地）への移設を進めてきました。
- ※ 学童クラブ運営そのものは、設置場所に関わらず区立学童クラブとして展開しているため、設置場所の違いによる成果・課題等に関し、分析・評価を行うこととしています。

データ（概要）【アンケートから】	
	<p>通所の安全・安心について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「小学校内(学校隣地)がよい」、「どちらかと言えば小学校内(学校隣地)がよい」が計 90.0%で、「小学校内(学校隣地)がよくない」、「どちらかと言えば小学校内(学校隣地)がよくない」の計 4.0%を大きく上回っている。 <p>（よいと思う理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通事故や不審者などのリスクがなく安心、1人でも安心して通える ○ 1年生から通う場所としては校内の方が安全に行けると思う。 <p>（よくないと思う理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ （地域に）開かれた場としては小学校内ではない方が関われる人は沢山いると思う ○ 「いじめ」や「不登校」で、学校がマイナスの場になった時、子どもは通えなくなってしまうのではないか
	<p>身体を動かして遊ぶ機会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「小学校内(学校隣地)がよい」、「どちらかと言えば小学校内(学校隣地)がよい」が計 82.7%で、「小学校内(学校隣地)がよくない」、「どちらかと言えば小学校内(学校隣地)がよくない」の計 5.4%を大きく上回っている。 <p>（よいと思う理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広い校庭、体育館が使える、学校は小学生にあった遊具がある ○ 使い勝手がわかっている（使い慣れた）場所なので事故につながりにくいように思う <p>（よくないと思う理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動部の活動と重なってしまうなど、体育館や校庭が使える時間、日にちに限りがある ○ 児童館内ならば、常に遊戯室が使える

学童クラブに在籍しない友達と遊ぶ機会について

- 「小学校内(学校隣地)がよい」、「どちらかと言えば小学校内(学校隣地)がよい」が計 64.7%で、「小学校内(学校隣地)がよくない」、「どちらかと言えば小学校内(学校隣地)がよくない」の計 6.0%を大きく上回っている。

(よいと思う理由)

- クラブに在籍しない子も学校なら遊びに来やすいと思う
- すれ違いなどを防ぐことができるし、事故の面からも安心

(よくないと思う理由)

- 違う小学校の友達や兄弟関係のかかわりを考えると、小学校内では一緒に遊べない
- 学童と放課後は別の場所で運営されているため、一緒に遊ぶことができない

育成室などの活動スペースについて

- 「小学校内(学校隣地)がよい」、「どちらかと言えば小学校内(学校隣地)がよい」が計 68.0%で、「小学校内(学校隣地)がよくない」、「どちらかと言えば小学校内(学校隣地)がよくない」の計 6.6%を大きく上回っている。

(よいと思う理由)

- 知っている場所(学校)で安心感があると思う
- 別の建物だと敷地面積が限られるイメージがある

(よくないと思う理由)

- 学校とは切り離れた場所の方が精神的に安定すると思う
- 放課後なのに、校内にあると静かにしないといけない(他の学年の授業などで)

学童クラブを児童館内から小学校内(学校隣地含む)へ移設する取組について

- 「賛成である」、「どちらかといえば賛成である」が計 74.7%で、「どちらかといえば反対である」、「反対である」の計 9.3%を大きく上回っている。

データ(概要)【現場職員ヒアリングから】

- 校内にあることで安全性は保たれている。校内にあることの安心感は大きい。
- 支援の必要な子も先生と一緒に来所しやすい。
- 学童までの移動時間がないので利便性が高い。
- 高学年になったときの放課後の過ごし方を保護者と共有し、居場所への移行準備として放課後居場所体験を取り入れている。
- 校庭や体育室で居場所利用の児童と一緒に遊ぶことが出来ることが良い。
- 学校行事等で校庭や体育館が使えないと辛いことがある。
- 学校とのより一層の連携がとても大切だと思っている。

(3) 乳幼児親子の居場所【子ども・子育てプラザ】の検証に関する部分

活動内容	データ (概要)
くつろぎの居場所と遊び場の提供	アンケート (左記の活動内容が継承されているか)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継承されている+どちらかといえば継承されている 95.9% ・ どちらかといえば継承されていない+継承されていない 1.5% ・ どちらともいえない (わからない含む) 2.0%
	アンケート (子ども・子育てプラザに満足しているか)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大変満足+満足 96.5%
	利用実績
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館 (ゆうキッズ) の利用状況に比して 5.5 倍の利用
	アンケート (利用する目的は何か)
子どもに関する身近な相談への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの遊びの場 93.1% ・ 自身のくつろぎの場 14.1% <p style="text-align: center;">(児童館アンケートも同様の傾向)</p>
	アンケート (よくないと思うところ)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅からの距離が遠い 24.5%
	アンケート (住まいの町丁目) ※距離に換算して集計
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0.5 km以内：27.7%、0.5～1 km以内：39.9%、1 km以上：29.0% <p style="text-align: center;">(児童館アンケートの同質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0.5 km以内：51.6%、0.5～1 km以内：33.8%、1 km以上：10.2%
	アンケート (よくないと思うところ)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生以上の子どもとの交流が少ない 5.9% <p style="text-align: center;">(児童館アンケートの同質問 5.7%)</p>	
子どもに関する身近な相談への対応	アンケート (左記の活動内容が継承されているか)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継承されている+どちらかといえば継承されている 83.4% ・ どちらかといえば継承されていない+継承されていない 0.0% ・ どちらともいえない (わからない含む) 16.1%
	アンケート (利用する目的は何か)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てに係る身近な相談 8.7% <p style="text-align: center;">(児童館アンケートの同質問 7.6%)</p>	
アンケート (良いと思うところは何か)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育ての悩みや不安を職員に相談できる 4.5% ・ 職員が気軽に声をかけてくれる 18.8% <p style="text-align: center;">(児童館アンケートの同質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育ての悩みや不安を職員に相談できる 1.3% ・ 職員が気軽に声をかけてくれる 10.2% 	

<p>乳幼児親子の交流の場の提供</p>	<p>アンケート（左記の活動内容が継承されているか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継承されている＋どちらかといえば継承されている 94.5% ・ どちらかといえば継承されていない＋継承されていない 1.0% ・ どちらともいえない（わからない含む） 4.0% <p>アンケート（子ども・子育てプラザに満足しているか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大変満足＋満足 96.5% <p>利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館（ゆうキッズ）の利用状況に比して5.5倍の利用 <p>アンケート（利用する目的は何か）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月齢・年齢の近い子ども同士の交流 51.5% ・ 保護者同士の交流 34.2% （児童館アンケートの同質問） ・ 月齢・年齢の近い子ども同士の交流 65.6% ・ 保護者同士の交流 44.6%
<p>地域の子育て関連情報の提供</p>	<p>アンケート（左記の活動内容が継承されているか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継承されている＋どちらかといえば継承されている 90.5% ・ どちらかといえば継承されていない＋継承されていない 0.5% ・ どちらともいえない（わからない含む） 8.5% <p>アンケート（利用する目的は何か）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てに関する情報の取得 12.4% （児童館アンケートの同質問 12.1%） <p>課題につながる意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットの発達で情報は不要 ・ ラインやツイッターで挙げて欲しい ・ 子育てに限らず、他の施設の情報が見たい
<p>親子で楽しめるプログラムや子育てに関する講座等の実施</p>	<p>アンケート（左記の活動内容が継承されているか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継承されている＋どちらかといえば継承されている 96.0% ・ どちらかといえば継承されていない＋継承されていない 0.5% ・ どちらともいえない（わからない含む） 3.0% <p>アンケート（利用する目的は何か）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢別定例プログラム 27.2% ・ 季節行事などのイベント 21.8% <p>運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児向けプログラム実施回数・参加者数（令和4年度実績） 1所1月平均 72.1回・1,346.4人 （児童館1館1月平均 13.4回・185.3人）

子育て自主グループの活動支援	アンケート（左記の活動内容が継承されているか）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継承されている＋どちらかといえば継承されている 57.3% ・ どちらかといえば継承されていない＋継承されていない 2.0% ・ どちらともいえない（わからない含む） 39.7%
	アンケート（利用する目的は何か）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体利用（部屋の貸し出し） 0.2%
	アンケート（良いと思うところは何か）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てグループ、子育てサークルの活動ができる 2.2% 	
運営状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的内団体利用数（令和元年度実績） 1所1月平均 11.2 団体・139.3人 （児童館1館1月平均 1.7 団体・19.2人） ※ 直近はコロナ禍の影響（団体利用の制限）があったため、コロナ禍前のデータを用いている。 	

(4) 中・高校生の居場所【中・高校生の新たな居場所づくり＝コミュニティふらっと永福】の検証に関する部分

- ※ 児童館では、「中・高校生の利用者をうけとめるとともに、自主的な活動を支援する」ことを運営の柱に据えて取組を進めていますが、多くの児童館では、中・高校生の多様なニーズに十分応えることが難しい状況にあります。
- ※ そのため、現状の継承という視点ではなく、児童館再編の取組において展開してきた「中・高校生の新たな居場所づくり」と「ゆう杉並」を充実するための取組の成果・課題等に関し、分析・評価を行うこととしています。

児童館の現状と課題等
利用状況（利用者数から）
<ul style="list-style-type: none"> ○ H28（41館）一館一日平均利用者数 中学生2.4人、高校生0.5人 ○ R4（27館）一館一日平均利用者数 中学生1.7人、高校生0.1人
課題等（現場ヒアリングから）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学童クラブ利用児童が多く、中・高校生は利用しにくい環境になっている。 ○ 小学生の利用を主としているため、来館しても遊べるスペースが限定される。 ○ ハード面においても、多くの児童館は、遊戯室の天井が低い、ニーズに応えられる設備（バスケットゴールなど）が無いなど、中・高校生の利用を前提とした設備が整っていない。
利用の実態（運営状況から）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 元学童クラブ在籍児など、小学生時に児童館につながりがあった一部の中・高校生などの固定的な利用になっている。 ○ 地域中・高校生委員会では、企画の立ち上げなど自己実現と自己有用感を高める支援をしているが、委員となる中・高校生は委員会設置児童館近隣の中・高校生に留まっており、全区的な取組になりえていない。 ○ 福祉的な課題を抱える中・高校生の利用があった場合は、個別に丁寧に対応し、学校、保護

者、SSW等と連携を図りながら支援している。

「ゆう杉並」の充実策の現状

- 「区立中学校への広報活動の強化」や「ゆう杉並の活動（中・高校生運営委員会、利用者懇談会、オフィシャル活動など）の全区的周知」といった充実策を進め、利用者の増加が見られるが、全区的に均一な利用の広がりには至っていない。

データ（概要）【コミュニティふらっと永福】

アンケート

- 週1回以上利用している 49.2%
- 利用目的について
中高生専用スペースの利用（学習利用）82.0%、ラウンジで友人とのおしゃべり 32.8%、図書館（本の貸出）の利用 26.2%
- ティーンズタイムの取組について
大変満足している 32.8%、どちらかといえば満足している 41.0%
- 中・高校生になってから、児童館を利用したか
利用したことがある 18.0%、利用したことがない 82.0%

利用中の中・高校生ヒアリング

- 席を増やしてほしい。
- 児童館は中・高校生が行くところとは思っていない。
- バasketボールなど、無料でスポーツができる場所がほしい。
- 勉強も遊びもできるといった様々なニーズが集まる施設は難しいのではないかと。

(5) 子ども・子育てを支えるネットワークづくり【子ども・子育てプラザ】の検証に関する部分

※ 子ども・子育てを支えるネットワークづくり（地域子育てネットワーク事業）の機能・役割については、子ども・子育てプラザが継承することとし、児童館再編の取組を実施した地域（小学校区）の事務局を担い、従前の活動を継承しています。

※ ここでは、児童館から子ども・子育てプラザに事務局が移ったことによる課題等に関し、分析・評価を行うこととしています。

子ども・子育てプラザの現状と課題等

- 地域子育てネットワーク事業は、各小学校区単位で、児童館を事務局として、子どもと子育てを応援する地域社会のつながりを強めることを目的に、地域により若干の活動内容（構成メンバー、実施回数・時期等）の差異はあるが、主に以下の取組を展開している。
 - 行政連絡会の開催（学校等の関係機関による情報共有、連携等）
 - 地域連絡会の開催（地域の子育て支援関連団体・関係者による情報交換、地域課題の共有等）
 - 地域との協働による伝統行事やイベント等の実施（もちつき、おまつりなど）
- 児童館再編の取組を実施した地域では、当該小学校区の事務局を子ども・子育てプラザが担い、従前の活動を継承している。
- そのため、子ども・子育てプラザによっては、複数の小学校区（最大3小学校区）の事務局

を同時並行して担う形になっている。

- 児童館では、主たる利用者である小学生（小学校区）のつながりを基本にしながら、ゆうキッズ（乳幼児期）からのつながりや、小学校卒業後の中・高校生になった子どものつながりを含め、0歳から18歳までの子どもと大人を見据えた取組を進めることができた。
- しかし、子ども・子育てプラザは、乳幼児親子を主たる利用者としているため、小学生以上の子どもとその関係者（大人）とのつながりが弱く、小学生以上の子どもにかかる関係作りに難しさがある。
- 現状では、再編前（児童館が事務局であったとき）の職員が配置されていることで、関係作りを維持できていると考えられる部分がある。

データ（概要）【現場・地域の声から】

現場職員ヒアリング

- 地域を捉える時の地域の考え方は、整理が必要だと思う。地域の分けもだが、地域連絡会の参加者の線引きも難しい。（関係者が必ずしも小学校区と連動していない。）
- 地域によって、行事に関わってくださっている方が違う。画一的な整理は難しいのではないかと。
- より良い子どもの居場所を検討する際には、子どもの成長のつながりと地域のつながりを考えた時に中学校区程度が地域として適切かなど、整理したい。

地域連携に関する意見交換会から

- 児童館がネットワークの事務局を担っていたときは児童館で地域連絡会などが開催されており、そこに小学生の姿が多くあったことから、子どもの顔が直接見え、やりたいことは何かという生の声が聞けた点は良かった。
- 児童館再編後はネットワークの事務局を子ども・子育てプラザが担い、地域連絡会の開催もプラザでの開催となったことから、当初は、小学生の姿を目にする機会も少なく不安もあったが、小学校内で実施する放課後等居場所事業のプログラムに協力するなど活動の実績ができてくるとともに、その不安も解消されている。
- 再編後は一つの子ども・子育てプラザで受け持つネットワークの地域が多くなり、職員が放課後等居場所事業等の運営支援に出かけていて不在なことも多いなど、忙しそうな印象を持っている。
- 地域の捉え方として中学校区単位が良いと思う。小学校から中学校に上がっても見守ってくれる大人が地域にたくさんいる状況があるのがいい。